

北海道新聞

2025年
2月4日
火曜日

発行所
北海道新聞社
〒060-8711
札幌市中央区大通東4-1
電話 011-221-2111
www.hokkaido-np.co.jp

元気からはじめます。

中道リース

<https://www.nakamichi-leasing.co.jp/>

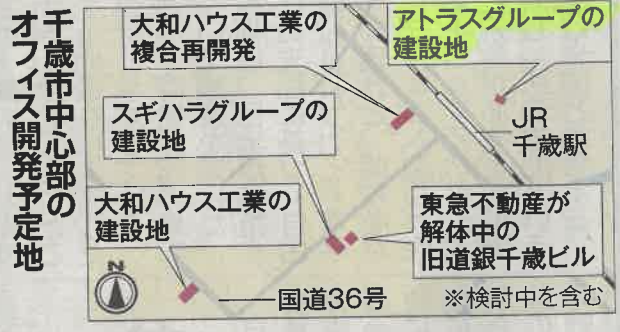
千歳市街オフィス開発加速

【千歳】次世代半導体の製造を目指すラピダス(東京)の工場稼働を今春に控え、千歳市中心部でオフィスビル開発が加速している。地元企業や大手デベロッパーによる計画が相次いでおり、今夏以降に5棟の完成が見込まれる。各社は、半導体産業の裾野の広さや、ラピダスの工場近くでの拠点開設を望む企業の需要に注目。住宅やホテル開発が先行していた一帯が、ビジネスの現場としての色彩を帯び始めた。

(3面)千歳に拠点開設続々

JR千歳駅から徒歩5分の、駅前通り沿いの千代田町3の一等地。かつて衣料品店などが入居していた2階建てビル2棟は既に解体され、今は更地となっている。この3月、5階建て延べ床面積約3千平方メートルのオフィスビルの建設が始まる。

手掛けるのは、調剤薬局などを展開する千歳市のスギハラグループ。1941年(昭和16年)の創業以来、初のオフィス開発に10億円を投じ、来年2月の完成を目指す。スギハラは松坂敏之会長は「国策の大事業で、関連企業も膨大。千歳はオフィスがあまりに少なく、需要が見込める」と力を込める。



千歳市中心部のオフィス開発予定地

ラピダス効果 5棟、工場近く需要増

討段階も含めて現在、5棟が計画されている。

完成前から引き合いは強い。不動産開発のアトラスグループ(札幌)は、千歳駅北側の末広5で8月に3階建てオフィスを完成予定。同社幹部は「稼働が迫るこの時期を見計らっていた。半導体関連企業の入居が内定しており、既に満床予定だ」と明かす。

大手企業も参入を急ぐ。大和ハウス工業(大阪)は、



スギハラグループのオフィスビル建設予定地。奥は東急不動産が解体を進める旧道銀千歳ビル

首相、米の高関税「影響を精査」 2
石破茂首相は衆院予算委員会で、トランプ米大統領が打ち出す高関税政策について「どのように世界の自由貿易に影響を与えるか精査する」と述べた。

美大生の滞在授業 森町に活気 3
武蔵野美術大の学生数人が毎年「まちづくりデザイン」に関する授業で森町を訪れ、町に活気を生んでいる。

登別の娯楽施設跡に太陽光発電所 10
太陽光発電所として再出発した登別の元レジャー施設。地元住民が規制条例を求めるきっかけにもなった。

クルーズ船集団感染5年で追悼 22
コロナで13人が死亡したクルーズ船が横浜沖に停泊を開始して5年。元乗客らが黙とうした。

春告げる群来 石狩などで確認 24
石狩市などで産卵のた

首相陳謝「緩みあった」

経産省幹部「四島に核ごみ」

衆院予算委

予算委で立憲民主党の神谷裕氏(北海道10区)が「北方領土関係者にとって看過できない発言だ」とただしたのに対し、答えた。

進む開発の背景には、ラピダスの工場との距離がある。同市美々地区で建設中のラピダスの工場から千歳の中心市街地までは、直線距離で約6キロ、車で15分ほどの距離。オフィスビルが林立する札幌までは約50キロ、車で1時間程度かかる。

大和ハウス工業の新谷聡北海道支店長は「24時間稼働する半導体工場との関連企業は、おおむね30分以内に駆けつけられる拠点を求める」と説明。ラピダスの工場稼働が迫り、アクセスのいい千歳市街地が好適地として浮かび上がった格好だ。

東急不動産(東京)は昨年夏、駅前通り沿いの旧道銀千歳ビル(千代田町4)の解体に着手。オフィスビルも含めた再開発の手法を検討中で、3月にも方針を固める。札幌支店の小野公嗣副支店長は「本格稼働に向けて伸び代は大きい。機会を見てさらに投資を進めたい」と意気込む。マチの変貌はまだまだ続きそう

(高橋祐一)

半導体 日米協力へ意

首相は発言について「このよつなことは絶対にあってはならない」と強調。武藤容治経産相は「聞いたときに正直言っ

(村上辰徳)

さつぱ

北海道を代表する大通公園の大通公園点灯で水電燈市中央区のさ

